



県内2事例目

内線電話のデジタル化で 職員 2,500 人がダイレクト通話！

本市では、電話機がなくても、業務用パソコンから連絡を取りたい職員へ、いつでも直接受発信が可能となる「デジタル内線電話システム」を導入し、6月12日（金）から利用を開始します。これにより、市のネットワーク環境が利用可能な状態であれば、自席以外でも場所を選ばず連絡を取り合うことができるため、仮庁舎移転時の業務連携や災害時の業務継続にも大きな効果を発揮する取り組みとなります。

● 利用開始日時 令和8年6月12日（金）8時30分～

● システム概要

- (1) 対象者 正規職員約 2,500 人(小・中学校、病院医療職等の一部職員を除く)
- (2) 活用機器 一人一台個人配布している業務用パソコンとヘッドセット 2,500 台
- (3) 主な機能

内線電話以外にも、グループチャットや Web 会議機能が利用できます。なお、業務で利用する Office ライセンスの機能を活用するため、新たな経費は発生しません。

● 導入による効果

- 業務用パソコンから直接受発信でき、自席以外の会議室や別庁舎からでもワンクリックで通話できるため、取り次ぎを無くし、職員間の確認・調整時間の削減が期待できます。
- 内線電話の通話中も資料を見ながら、情報の共有が可能となるなど、効率的な業務遂行が期待できます。
- 日程調整など軽微な確認作業の際に、グループチャット機能を活用することで、関係者へ一斉に通知することや、相手の都合の良いタイミングで内容確認や回答が可能となり、効率的な業務遂行が期待できます。
- Web 会議機能を活用することで、仮庁舎移転後の職員が分散する状況においても集合せずに打ち合わせが可能となり、出席者の移動時間が削減されます。

● 削減効果想定時間 年間 約 25,000 時間

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市 総務部 DX推進課 ☎047-366-7399

FAX047-363-3200 ✉ matsuinfo@city.matsudo.chiba.jp